

みんなで築く!

こうふくいちやじょう

港福一夜城 VOL.2 「障がい児者が地域で暮らす 意味を考える」の巻

2016年夏の相模原での痛ましい出来事を受けて、

「地域で障がい者が暮らす」ことについて、

ジャンルを超えて集まる場だからこそ本音で語り合いたい。

日時 2017年1月13日(金) 18:00~20:00
会場 港北公会堂 1号会議室

参加費 300円

終了後、同会場で1時間程度懇親会を予定。
懇親会は参加費実費・当日精算

対象：港北区在住在勤等ゆかりある方で
地域のまちづくりや福祉的な取り組みに関心ある方



主催 港福城プロジェクト

港福城プロジェクトは、港北区内で福祉に関わる団体・個人が
自由意志で意見交換・学びあいのために参加するプロジェクト。
参加費は資料代、講師謝金などに充当します。
年数回の勉強会を行う予定です。

WEB等で告知します。 <https://www.facebook.com/kohokusasuke/>

福の衆(プロジェクト賛同人)

このプロジェクトは港北区にゆかりのある有志が、次代を担う人たちが所管や事業の枠を超えて横断的に連携することこそが、地域住民の明日の暮らしの幸せを築くことにつながることを願って、プロジェクト賛同人＝「福の衆」と名付け、たくさんの方々のご賛同を得て運営します。裏面に五十音順で掲載しています。



申込・問い合わせ：
港福城プロジェクトTEAMSASUKE

<http://kokucheese.com/event/index/431920/>

畑中 (y-hatanaka@bi-no.org)

田之畑 (tanohata@kohoku-drop.com)

嶋(h.shima@ryokuhokai.or.jp)

港北の福祉の次代を
担う人が集まる

一夜城

役職・職域・世代は
関係ない。身近な実践を

聞きあい、

ただ明日のために

語り合おう

みんなで築く!



こうふくいちやじょう
港福一夜城 VOL.2

今夜のご当主

●ご挨拶 武藤 啓司さん

(NPO法人楠の木学園理事長)

●コーディネーター
梶谷 洋之さん

(社会福祉士)

●登壇者
鈴木 明子さん

(野のすみれクリニック
リハビリテーション科 院長)

山下 容子さん

(株式会社あやちゃん家 代表取締役)

●おわりに 大原 日恵さん

(NPO法人地域で生きる障害者を支える会/
港北区社会福祉協議会セーフティネット分科会)

当日は障がい当事者やご家族の
声もお聴きする予定です

今夜のご当主 プロフィール

鈴木 明子さん（野のすみれクリニック リハビリテーション科 院長）

- 1965年 横浜市南区弘明寺生まれ。生まれた家が入院患者さんのいる診療所。小さい頃から入院患者さん、職員さんと遊んで育つ。横浜市立大学医学部卒。同リハビリテーション科入局。
- 1991年 結婚して港北区に転入。横浜市総合リハセンター勤務中に長男が自閉症とわかる。以後、常勤はあきらめ、横浜市、川崎市の療育センター、養護学校の非常勤職を掛け持ちしてキャリアを継続。
- 1998年 夫とともに綱島鈴木整形外科開業。そこで、2010年頃より“障がいのある人の外来”というのが形になる。特別な配慮が必要な人たちにはもっと静かでのんびりした診療環境をとという想いが強くなる。
- 2016年 野のすみれクリニックリハビリテーション科を大曽根に開業。長男は24歳、師岡町の生活介護型作業所通所中、まだまだ母業も手抜きはできない毎を送りながら、医療バリアフリーの実現のために個人クリニックでできることを模索している。



山下 容子さん（株式会社あやちゃん家 代表取締役）

- 1968年 東京都生まれ。横浜育ち。高校時代、米軍基地でアルバイトをしていた時に米軍病院で検診を受けたことがきっかけで看護師となる。都内・横浜市で足掛け25年の看護師人生。趣味のように看護の仕事が大好きな私であったが…
- 2008年 長女がダウン症と診断される。病院の託児所や保育園に恵まれ、子育てをしながら看護師として働く。
- 2012年 娘の就学以降の居場所を含めた将来について考え始めていた頃に法改定があり、児童福祉法に基づく放課後等デイサービスの開設準備を始める。
- 2014年11月 放課後等デイサービスを開設。我が子を取り巻く仲間たちの「可能性の扉」。その鍵のありかへと導くことで、子ども達が成人した時に大きな力となりますようにと【わくわくさん綱島東の扉】と名付けた。25年という長い看護師人生。実は娘を取り巻く地域の子どものための【ココ】を作るための試練だったのかなぁと思いながら、支援者であり当事者として日々ニーズを追求し支援している



こうふくいちやしょう

港福一夜城 これまでのあゆみ Vol1.2016.10.13(木) 18:45~20:30/ 会場 どころぽサテライト

ご当主:加藤 彰彦先生(沖縄大学前学長)×村田 由夫先生(大倉山保育園園長)

参加者 約70名

1970年代以降、お二人が中区寿町で見えてきた出来事、人々の姿をいきいきと、当時のスライドを見ながら、伺った。その佇まいから、お二人の支援者としてのありようが浮かび上がるとともに、これからのまちづくり、人づくりを担う人々へのメッセージ、福祉の場において戦う実践者としてのDNAがそれぞれの人たちの胸に刻まれた。



福の衆-プロジェクト呼びかけ人- (五十音順) 2017年1月4日現在

- 青木恵美子 (NPO 法人フラットハート)・安達和世(岸根保育園副園長)・池田誠司(港北区社会福祉協議会)・石原千草・伊藤泰毅・入江勝通(港学舎/コミバス市民の会)・岩本洋子(日吉台光幼稚園)・岩本邦彦(日吉台光幼稚園副園長)・
- 宇田川規夫(港北区災害ボランティア連絡会・国際救急法研究所)・大神田絵美(城郷小机地域ケアプラザ)・奥山千鶴子(NPO法人びーのびーの)・大場佳代子(NPO法人あいあい)・大豆生田啓友(玉川大学大学院教授)・大野玲子・大原日恵・門倉晴義(金沢区社協)・河村太喜・北見智美(天王町保育園園長)・木下豊(港北図書館館長)・久保希有子・小池伊左雄・小嶋正夫(中区社協)・小林富夫(トライセブン)・小林康夫・嶋宏之(高田地域ケアプラザ)・白瀧宏子(たんぼぼ保育園園長)・新堂泰江(社会福祉法人かれん)・助廣一則・
- 鈴木ヨシモト直美(株式会社GCI(訪問看護ステーション))・鈴木智香子(NPO法人街カフェ大倉山ミエル)・鈴木美美子(NPO法人ハッピーマザーミュージック)・関口昌幸(横浜市政策局)・妹尾信二(精神保健ボランティアグループあみねと)・芹田賢治(たかたんのうち代表)・
- 田中孝秀・田之畑有美(港北区地域子育て支援拠点サテライト副施設長)・畑中祐美子(NPO法人びーのびーの)・原美紀(港北区地域子育て支援拠点施設長)・平井誠二(大倉精神文化研究所)・藤岡圭子(新吉田地区民生委員)・丸田剛洋(北綱島小学校)・武藤啓司(楠の木学園)・村田由夫(大倉山保育園園長)・宮田光明(港北区民生委員児童委員協議会)・安江文子(ちいさなたね保育園)・山科礼子(日吉宮前地区民生委員)・山村朋子(株式会社GCI(訪問看護ステーション))・安田加代子・
- 山下容子(放課後等デイサービス わくわくさん綱島東の扉)・山本一乃(日吉地区センター副館長)・渡邊広美(新田地区センター)